

病棟再編成についてのお知らせ

令和5年1月吉日
社会福祉法人浴風会 浴風会病院
病院長 伊藤嘉憲

患者様
ご家族様

新型コロナウイルス感染症による未曾有の災禍にもかかわらず、平素より当院をご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、人口高齢化の進展に伴い、国は令和7年(2025年)を目途に「地域包括ケアシステム」の構築の実現をめざしています。これは、重度の要介護状態になっても自宅など住み慣れた環境・地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護などのサービスが一体的に提供されるしくみです。それに関連して、近い将来、医療機関の機能分化が進み、ごく大まかには①高度の急性期医療を担う200床以上の病院と、②診療所とともに身近な「かかりつけ医」としての機能を持ち、「地域包括ケアシステム」を支える200床未満の病院に分けられていく見通しです。

このような状況を踏まえて、当院は今後外来および在宅医療(訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーション)をさらに充実させ、また近隣の医療機関および介護事業所との連携を緊密にすることによって「かかりつけ医」としての機能を強化し、より地域に密着した病院(上記の②に相当)をめざすことになりました。そのためには、病院運営上、病床数を200床未満に縮小する必要があることから、令和5年3月をめどに療養病棟を現在の100床から49床に削減する予定です(病院全体では250床から199床に縮小)。

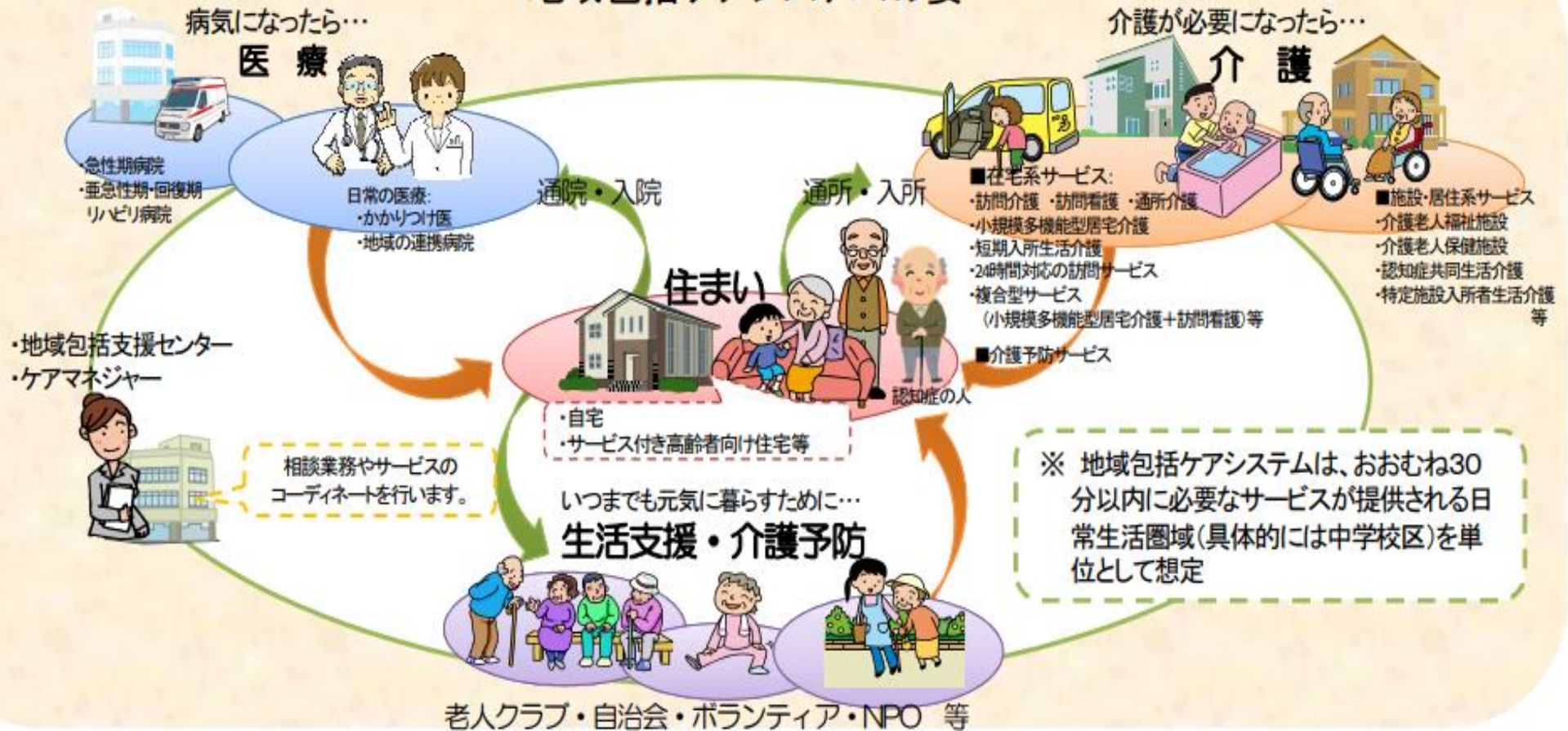
なお、回復期リハビリテーション病棟および地域包括ケア病棟につきましては変更ございません。

新たな診療体制で、引き続き「地域住民に信頼され喜ばれる病院」をめざしてまいります。皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

現状と病棟再編成後との比較

	現 状		病棟再編成後	
病棟種別	回復期リハビリテーション病棟	50床	回復期リハビリテーション病棟	50床
	地域包括ケア病棟	100床	地域包括ケア病棟	100床
	療養病棟	100床	療養病棟	49床
	計	250床	計	199床

地域包括ケアシステムの姿



(厚生労働省資料より)